



まなびい掲示板

▶わくわくふるさと探検隊②

～くすまきの川と空の観察～

- とき 8月12日(日) 14:00～20:30
- ところ 小屋瀬農村センターほか
※総合センターに集合
- 内容 カワシンジュガイと夏の星座観察
- 講師 斎藤政弘さん、斎藤せい子さん
(滝沢村)
- 対象 小学生と保護者
※子どもだけの参加も可
- 参加費 34円(保険料)
- 持ち物 弁当(夕食)、着替え、タオル、川に入っても良い運動靴(サンダルは不可)、ビニール袋、上着

▶トールペイント教室(全3回)

- とき ①8月23日(木) ②8月31日(金)
③9月5日(水)
毎回13:30～15:30
- ところ 総合センター
- 内容 ウェルカムボード制作
- 講師 近藤とし子さん(下町)
- 参加費 2,000円(材料代)
- 持ち物 エプロン、キッチンペーパー、ボールペン、水入れ容器

※申し込み・問い合わせは、葛巻町公民館(役場内線163・164)まで。

緑のサヘル代表 菅川拓也氏講演会
「サハラ砂漠に木を植える」

とき 9月3日(月) 19:00～21:00
ところ 総合センター ※入場無料

地球の温暖化、砂漠化が進み、私たちに酸素を供給し続けているアフリカの森は瀕死の状態です。「緑のサヘル」は、砂漠周辺のサヘル(岸边)地帯に木を植え、井戸を掘り、緑を増やす活動を続けている国際ボランティア団体です。

「豊かさとは何か」、「私たちにできるボランティアとは何か」、「いきがいと何か」について、一緒に考えてみませんか。

どなたでも自由に参加できますが、ご希望の方は事前に葛巻町公民館(役場内線163)にお申し込みください。

黛まどかさんが選ぶ
風と恋の俳句コンテスト
作品募集中!!

全国各地から続々と作品が寄せられている第6回風と恋の俳句コンテスト。応募の締め切りは**8月31日(金)**です。作品の応募は郵便、ファクス、役場ホームページ、メールのほか、町内9箇所に設置している投句箱をご利用ください。皆さんからの素敵な作品をお待ちしています。

俳句で文化の薫る町づくり実行委員会

～応募作品の中から～
ほたる火の^{とも}灯るその時風が止む(京都府・男性)
夏風が飛ばすあいつの野球帽(東京都・女性)



読書のつどいで読み聞かせを实践する受講生(昨年11月、公民館図書室)

生涯学習サポーター養成講座受講生募集

町生涯学習推進本部(本部長・中村哲雄町長)では、学習活動を支援する人材の養成を目的とする「生涯学習サポーター養成講座」の受講生を募集しています。
「昔話の語り部」、「読み聞かせ」、「レクリエーション」の三コースで、それぞれ六～七回の講座を開設します。
この機会に、生涯学習サポーターとしての知識や経験を身につけて、あなたの学びを地域社会に生かしてみませんか。
申し込みは、生涯学習推進室(役場内線二七五)まで。

あなたの学びを
みんなの学びに

レクリエーションコース

子ども会や老人クラブなどの団体活動で活用できる、人々とのコミュニケーションを深めるための技術を学び、遊びの提供者としてのレクリエーションリーダーを目指します。

◆講師 スポレクRネットいわて指導員
◆会場 総合センター

- ①9/9 レクの効用と活用法
- ②10/6 野外でのレク
- ③11/11 レクの応用・その1
- ④11/23 レクの応用・その2
- ⑤12/16 レクで脳トレーニング
- ⑥1/9 実践とまとめ

読み聞かせコース

言葉を覚えるのに効果的なだけでなく、想像力や豊かな感性を育む読み聞かせ。あなたも、絵本の世界の楽しさを伝え、子どもたちの心の成長を応援しませんか。

◆講師 八木融子さん(盛岡市)他
◆会場 総合センター

- ①8/19 読み聞かせとは
- ②9/9 実際に語る・読む
- ③10/14 お話し会の開き方
- ④11/9 読書ボランティア研修会
- ⑤11/17 町外視察研修
- ⑥1/13 わらべ唄会
- ⑦2/24 実践とまとめ

昔話の語り部コース

囲炉裏端で祖父母から聞いた昔話。楽しかったり、ちょっぴり怖かったり…。この地で語り継がれてきた昔話や伝説を、次の世代へ残しましょう。

◆講師 藤岡一雄さん(平船)
◆会場 総合センター

- ①7/19 葛巻の昔話・その1
- ②8/24 葛巻の昔話・その2
- ③9/6 葛巻の方言
- ④9/27 昔の遊び
- ⑤10/11 町外視察研修
- ⑥10/27 実践とまとめ
※第2回からでも参加できます。

俳句便り

公民館講座「俳句に親しもう」
受講生の作品より

- 万緑や今日の句の色何色に
中代キミエ(茶屋場)
- あすまやに胡座して望む夏館
鈴木キチヨ(田子)
- 里山や初夏を奏でる風の詩
藤森 晴子(浦子内)
- 夏空やしばらく夢を見ておろす
入月 静子(橋場)
- 師はしばし苦むす句碑の脇に座す
近藤 恵子(下町)
- 寺裏に敷きたる如き龍の髭
遠藤 トク(田子)
- 大きさは競わぬ墓石夏の蝶
高家 卓範(江刈川)
- 密やかに句碑を守りし龍のひげ
斎藤 誠子(下町)

いきいき子育て ⑤

～だれも一人だけでは生きられない～

私たちは皆、助けられ支え合って生きています。友人や先生や家族に囲まれて生活している子どもには、このことは気づきにくくなっています。休日に地域の活動やボランティアなどに親子で進んで参加してみましょう。

子どもの成長に応じて、自分でできることを見つけ、行動していく機会を与えることは、子ども

にとって「自分は社会の一員だ」という意識を高めることにつながります。また、いろいろな大人と一緒に活動することは、将来の進路や生き方を考えていく上でも、社会のルールを知っていく上でも貴重な機会です。



<参考 文部科学省「家庭教育手帳」>